

排水ポンプ車



照明車



『高齢者に災害対策車両をPR！』 大垣で健康ウォーキング



- 高齢者の健康維持・増進を目的とした「第5回かがやき健康ウォーキング」が開かれた4月24日（木）、大垣市内在住70～80代の高齢者約300名が、大垣河川防災ステーションを訪れ、排水ポンプ車や照明車など、国が保有する災害対策車両を見学し防災意識を高めていただきました。

本イベントは、かがやきクラブ大垣（大垣市老人クラブ連合会）が主催するもので今回で5回目の開催です。大垣市米野町にある大垣市武道館を出発した参加者らは、市内に設けられた4箇所のポイント（①広芝池、②河川防災ステーション、③川並地区センター、④大垣市武道館）をスタンプラリー形式で周回し、約5Kmのコースを楽しみました。



中ノ江川の河川堤防をウォーキングする参加者



大垣市河川防災ステーション到着



スタンプラリーの様子



災害対策車両の説明を熱心に聞く参加者

■出張所コメント

- この大垣の地は、美しく綺麗な水が自然に地下から湧き出し、水と共に発展してきた地域であると同時に、一方で地形的特徴から「洪水常襲地域」とも言われ、常に洪水に見舞われ、水に苦しめられてきた地域でもあります。そんな歴史的背景を先人たちから語り継いできた、この地域の高齢者の方々は必然と洪水に対して敏感なのかも知れません。今回、地元老人会の方々に災害対策車両の概要を説明をさせていただきましたが、皆さんから数々の質問をお受けし、その熱心さからも、それを伺い知ることが出来ました。